

地域社会との緊密な連携を築く

地域とともに子どもの成長を支援するPTA活動

大府市立大府北中学校PTA

1 はじめに

(1) 校区の地域性

大府市は名古屋市と刈谷市の間に位置しており、両市とは古くからつながりが深いという地域性がある。また、交通の便がよいため近隣の都市への通勤がしやすいこと、道路網の整備とともに宅地開発が進んでいること等から、現在も人口が増加している。本年度『市制50周年』を迎えているが、この50年間に人口はおよそ2倍となっている。都市化が進むにつれ、地域住民同士のかかわりが希薄になりがちになるとともに古くから続く地域行事の伝承が難しくなっている。こういった現状から、“地域住民の連帯感を育て健康で住みよいまちづくりを推進すること”を目的として市内の各地区で小学校区を基本としてコミュニティが設立されている。



【校区「金メダルのまち」】

(2) 本校の概要

本校は昭和57年に市内3つ目の中学校として設立された。現在の生徒数は837名であるが、今後しばらくの間は、毎年およそ50名ずつの生徒の増加が見込まれている。また、学区には4つの小学校、3つのコミュニティがある。

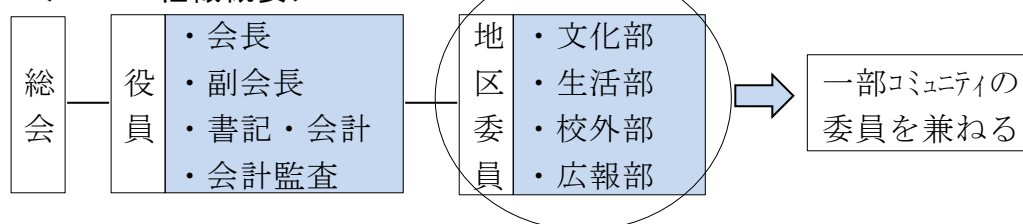


【30周年記念壁画】

(3) 本校PTAの概要

PTAの組織は、役員11名と地区委員36名（内8名が常任委員）で構成されている。委員36名は、小学校区ごとにその在籍生徒数の比率に応じて選出され、文化部・生活部・校外部・広報部に分かれて活動している。

< P T A 組織概要 >



2 研究への取組

(1) 研究のねらい

「これからの地域を担う人材育成」の必要性が叫ばれており、地域を愛し、地域で活躍する子どもであってほしいと願っている。“家庭でしつけ、学校で教え、地域で育てる”のことばで表されているように、家庭、学校、地域の連携のもと、健やかな子どもたちの成長を支援していきたい。

そこで、本校PTAは、活動方針の1つを『地域社会との緊密な連携』とし、次の取組を推進することにした。

- 地域との緊密な連携・融合を積極的に図り、子どもにとって安心・安全な社会を築く。
- 子どもが豊かな体験活動をするのできる社会環境を、地域とともに整える。

(2) 本校PTAとコミュニティの関わり

コミュニティからも本校PTAに対して連携が求められており、要請に応じて、地区委員36名から「コミュニティ委員」を派遣し、地域で活動する生徒の観察や支援にあたっている。(コミュニティは小学校区がベースとなって設定されており、小学校のPTA委員も派遣されている)。

<コミュニティへの派遣>

コミュニティ名	派遣数	コミュニティでの担当
北山コミュニティ	3名	文化部・体育部・環境部
東山コミュニティ	2名	広報調査部
共長コミュニティ	4名	家庭教育部・広報部

3 実践活動の概要

今年度は、新型コロナウイルス感染予防のため、実施されなかった行事が多いが、これまでの活動を中心に述べていく。

(1) コミュニティとの連携

① コミュニティ運動会

例年、どのコミュニティも運動会や公民館まつりを開催しており、本校生徒に『運営ボランティア』の募集がある。生徒は地域の大人とともに活動する中で育てられており、感謝の言葉を受けることで、地域の中の一員という意識も芽生えている。



【障害物競走の係】

本校のPTA委員は、各コミュニティ内で「体育部」「文化部」「広報部」等の部員として、生徒が活動する場面で安全を見守るとともに、必要に応じて他の部員とともに支援にあたっている。

② コミュニティ夏祭り

毎年、各地区の夏祭りも開催されており、生徒も楽しそうに参加している。

共長コミュニティでは、夏祭りで太鼓をたたいて盛り上げる『中学生委員』を募集している。夏祭りも練習も夜間に行われるため、コミュニティの家庭教育部員が子どもたちの安全を見守っている。また、『中学生委員』

は夏祭りのほか、地区の盆踊りや老人福祉施設夏祭りでも太鼓の係として活躍しており、ここでも家庭教育部員が見守りをしている。

※この“家庭教育部”は、夏季休業中の夕刻、子どもの安全を確認するパトロール活動も行っている。



【夏祭りでの太鼓披露】

③ 公民館まつり

コミュニティ運動会や夏祭り同様、各コミュニティから中学校に運営ボランティアの依頼があり、生徒の地域での活躍の場を提供していただいている。ここでも、PTA委員がコミュニティの委員として子どもたちとともに活動をしなが、支援にあたっている。

④ Clean the Obu!! (地域美化活動)

令和元年度に生徒会により、『Clean the Obu!!』として地域美化活動が提案された。生徒が示したこの活動の目的は次のとおりである。

- ・地域と中学生の関わりを深める。
- ・大府市をもっと住みやすい町にする。
- ・地域の方や大府に日頃の感謝を伝える。

令和元年8月（夏休み）、100名ほどの生徒有志により、校区にある駅ロータリーや公園を中心に美化活動を実施した。この活動を知ったPTAからは「2年度は生徒の安全を見守りたい」「地域の美化活動なのでコミュニティとのコラボを提案したい」との声があがった。

本校の校区には“至学館大学”や、オリンピック選手を輩出している“柔道場”もあり、『金メダルのまち』として、地域を挙げて盛り上げようとしている。4月7日には校区内で『聖火リレー』が予定されていた。生徒は、これに合わせて『Clean the Obu!!』を行う予定ではあったが、新型



【美化活動予定のイチョウ並木道】

コロナウイルスの休校期間になり実施することはできなかった。

しかしながら、コミュニティとしては、『イチョウ並木道（聖火リレー通過予定の道路）』の美化活動を企画しているとのことであるので、本校PTAとしても、参加する生徒の安全確保及び見守りをしていきたいと考えている。

(2) 地域住民との関わり

① PTA主催のバザー（令和2年度は開催せず）

10月の『北中祭（文化祭）』では、“PTAバザー”を開催し、収益金を生徒の活動支援費に充てている。このバザーは地域住民にも恒例となっており、「今年もバザーはありますか？」との問い合わせも多い。本校PTAの生活部の企画ではあるが、前日の準備及び当日の運営も役員・委員が総出となって取り組んでいる。



【恒例の“PTAバザー”】

② 野外ステージ（文化祭）に向けての活動

本校は住宅地の中にあるため、学校近隣の方に不快な思いをさせないように屋外への放送の音量には特に注意を払っている。近隣の方にも、年1回のスポーツフェスティバル（6月）だけは、大目に見ていただいている。そんな中、今年の『北中祭』は“密”を避けるため、運動場に野外ステージを設置して開催することにした。例年の10月にはないことであるため、本校としては、近隣の方に周知する「野外ステージ開催のお知らせ」を戸別配付することにした。



【野外ステージでDance】

本校PTAとしても、「子どもの活動を支援する」一環として、学校とともに配付を行った。およそ800軒を訪問してポスティングをし、出会えた方には説明を加えて手渡しをすることができた。

4 おわりに

子どももさまざまな体験をしたりさまざまな人と関わったりする中で学び、成長していく。そんな機会を与えてくれたり見守ってくれたりしている地域の方に感謝している。保護者も地域も学校も、願うところは「子どもの健やかな成長」である。これからも、PTA（保護者・学校）と地域とで連携して、未来を担っていく子どもの育成を推進していきたい。